第十二講　実践演習⑵『栄花物語』

次の文章は、『栄花（えいが）物語』の一節である。これを読んで、後の問に答えよ。

この頃聞けば、[注1]逢坂（あふさか）のあなたに、関寺といふ所に、[注2]牛仏現れ給ひて、よろづの人参りて見奉る。年ごろこの寺に、大きなる御堂（みだう）を建てて、弥勒（みろく）を造り据ゑ奉りける。[注3]榑（くれ）、えもいはぬ大木どもを、ただこの牛一つして運びあぐる事をしけり。[ア]あはれなる牛とのみ、御寺の聖（ひじり）思ひわたりける程に、寺のあたりに住む人借りて、明日使はんとて置きたりける夜の夢に、「[イ]我は[注4]迦葉（かせふ）仏なり。この寺の仏を造り、堂を建てさせんとて、年ごろするにこそあれ。[ウ]ただ人はいかでか使ふべき」と見たりければ、起きて、「かうかう夢を見つる」といひて、拝みさわくなりけり。牛もさやにて黒くて、ささやかに[エ]をかしげにぞありける。[オ]繋（つな）がねど行き去る事もなく、例の牛の心ざまにも似ざりけり。[注5]入道殿をはじめ奉りて、[カ]世の中におはしける人、参らぬなく参りこみ、よろづの物をぞ奉りける。ただ帝・東宮・宮宮ぞえおはしまさざりける。この牛仏、何となく心地悩ましげにおはしければ、[キ]疾くうせ給ふべきとて、かく人参りこみて、この聖は御[注6]影像（えいざう）をかかむと急ぎけり。かかる程に、[注7]西の京にいと尊く行ふ聖の夢に見えけり。「[注8]迦葉仏当入涅槃（たうにふねはん）のだむなり。[注9]智者当得結縁（ちさたうとくけちえん）せよ」とぞ見えたりけれ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ば、いとど人人参りこむ程に、歌よむ人もあり。［ク］和泉、

　聞きしより牛に心をかけながらまだこそ越えね逢坂の関

人人あまた聞ゆれど、同じ事なれば書かず。日ごろ、この御かたかかせて、六月二日ぞ御眼（まなこ）入れんとしける程に、その日になりて、この御堂をこの牛見巡りありきて、もとの所に帰り来てやがて死にけり。これあはれにめでたき事なりかし。御かたに眼入れける折ぞ果て給ひにける。［ケ］聖いみじく泣きて、やがてそこに埋（うづ）みて、念仏して、七日七日に経・仏供養しけり。後にこのかきし御かたを、内[注10]にも宮にも拝ませ給ひける。かかる事こそありけれ。まことの迦葉仏［コ］この同じ日ぞかくれ給ひける。今はこの寺の弥勒供養せられ給ふ。この聖もいそぎけり。草を誰（たれ）も誰もとりて参りける中に、参らぬ人などぞありければ、それは「罪なきにや」などぞ定めける。

注１　逢坂…京都と大津の中間にある逢坂山。
注２　牛仏…人々を救うために、牛に姿を変えてこの世に現れた仏。
注３　榑…丸太のこと。
注４　迦葉仏…釈迦以前に順を追って世に出現した七仏の中の第六番目の仏。
注５　入道殿…当時の権力者である藤原道長のこと。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

注６　影像…絵に表した仏の姿。後述の「御かた」も同じ。
注７　西の京…京都の右京。
注８　迦葉仏当入涅槃のだむ…迦葉仏が今やまさに仏の世界に入ろうとしているとき。「だむ」は「段」。
注９　智者当得結縁せよ…智者たる者は、まさに結縁を得んと心がけよ。「智者」は、ここでは仏教を信じる心のある者の意。「結縁」は、仏に縁を結ぶこと。
注10　内にも宮にも…「内」は天皇のことで、本文にある「帝」と同じ。「宮」は中宮のこと。

問一　傍線部ア「あはれなる牛」とあるが、この「牛」はどのようなことをしたのか。最も適切なものを、次の中から選べ。

Ａ　丸太や大木などを運び上げて、寺の御堂を建てるために働いた。
Ｂ　人々の信仰を集めるために、弥勒菩薩像を都から運んできた。
Ｃ　西の京の聖の夢に現れて、自分こそが寺の本尊だと名乗った。
Ｄ　弥勒菩薩像の周りを清掃するための道具を、逢坂から運んだ。
Ｅ　寺の近くに住む人に使われて、山の大木を関寺の御堂に運んだ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　傍線部イ「我」、傍線部ウ「ただ人」は、何を指しているか。その組み合わせとして最も適切なものを、次の中から選べ。

A　イ　牛　　ウ　御寺の聖
B　イ　牛　　ウ　寺のあたりに住む人
C　イ　御寺の聖　　ウ　寺のあたりに住む人
D　イ　御寺の聖　　ウ　牛
E　イ　寺のあたりに住む人　　ウ　入道殿

問三　傍線部エ「をかしげに」の文法的説明として最も適切なものを、次の中から選べ。

A　名詞「をかしげ」に、断定の助動詞「なり」の連用形が付いたもの
B　形容詞「をかし」の終止形に、接尾語「げ」と接続助詞「に」が付いたもの
C　形容詞「をかし」の終止形に、接尾語「げ」と格助詞「に」が付いたもの
D　形容動詞「をかしげなり」の語幹に、伝聞の助動詞「なり」の終止形が付いたもの
E　形容動詞「をかしげなり」の連用形

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　傍線部オ「繫がねど行き去る事もなく、例の牛の心ざまにも似ざりけり」の解釈として最も適切なものを、次の中から選べ。

Ａ　この牛は、つながれていなくてもどこかに行ってしまうこともなく、普通の牛の性質のようでもなかった。
Ｂ　この牛は、つながれていないけれど人が連れ去ることもなく、例の有名な牛にも似ていなかった。
Ｃ　この牛は、つながれていたのでどこへも行くことはできず、普通の牛と同じくいつも小屋の中でじっとしていた。
Ｄ　この牛は、つながれていたのでどこへも行くことができず、普通の牛と違ってよくあばれていた。
Ｅ　この牛は、つながれていなかったのでよくどこかに行ってしまったが、いつもいつの間にか帰ってきていた。

問五　傍線部カ「世の中におはしける人、参らぬなく参りこみ」とはどういうことか。最も適切なものを、次の中から選べ。

Ａ　世の中の人は皆、参るのは一回かぎりと思って参ったということ
Ｂ　世の中の人は入道殿の手前、義理でしかたなく参っていたということ
Ｃ　世の中の人は牛仏に参るつもりはなく、単に寺参りでやってきたということ
Ｄ　世の中の人が、牛仏の評判を聞いてもなかなか参ろうとしなかったということ
Ｅ　世の中の人で参らない人はなく、だれもかれもが皆参ったということ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問六　傍線部キ「疾くうせ給ふべき」の解釈として最も適切なものを、次の中から選べ。

Ａ　早くお亡くなりになるつもりだ
Ｂ　早くお亡くなりになるべきだ
Ｃ　早くお亡くなりになってほしい
Ｄ　早くお亡くなりになるだろう
Ｅ　早くもお亡くなりになったのか

問七　傍線部ク「和泉」とは、歌人「和泉式部」のことであるが、彼女と同時期に活躍した人物の作品を、次の中から選べ。

Ａ　伊勢物語　　Ｂ　源氏物語　　Ｃ　山家集
Ｄ　土佐日記　　Ｅ　梁塵秘抄

問八　傍線部ケ「聖いみじく泣きて」とあるが、聖はなぜ泣いたのか。その理由として最も適切なものを、次の中から選べ。

Ａ　影像に眼を入れる前に牛が亡くなったので、せめて影像が完成するまで生きられなかったのかと悲しくなったから
Ｂ　影像に眼を入れた後に牛が亡くなったので、影像に眼を入れたために亡くなったのかと後悔したから
Ｃ　影像に眼を入れて絵が完成すると同時に牛が亡くなったので、なんともありがたいことだと感動したから
Ｄ　影像に今から眼を入れようとしたときに牛が亡くなったので、それが本当に辛くて耐えられなかったから
Ｅ　影像に眼を入れることを知らないで牛が亡くなったので、とてもかわいそうなことだと思ったから

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問九　傍線部コ「この同じ日」とは何と同じ日なのか。次の中から選べ。

Ａ　牛が亡くなった日
Ｂ　和泉式部が和歌を詠んだ日
Ｃ　天皇や中宮が影像を拝まれた日
Ｄ　弥勒を供養した日
Ｅ　牛が聖の夢に現れた日

問十　この文章の内容に合致するものを、次の中から選べ。

Ａ　関寺の御堂建立のために働いた牛は、黒くて大柄な牛であった。
Ｂ　帝・東宮・宮宮は、牛の評判を聞いて関寺にお参りになった。
Ｃ　和泉式部は、御堂を建立するお金を集めるために歌を詠んだ。
Ｄ　関寺の御堂は非常に趣深いので、世の人々はあらそって参った。
Ｅ　仏が牛に姿を変えて、関寺の御堂の建立のために力を尽くした。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十二講　復習問題

①「古き日記などはおぼつかなからねど、…」の傍線部の文法的説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　打消推量　イ　完了　ウ　打消
エ　存続　オ　強意

②「心とく詠める」の具体的内容として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　素早く発想して詠むこと
イ　周囲の誰もが納得するように詠むこと
ウ　自身の心を重視して詠むこと
エ　自身の心がなごむように詠むこと
オ　わかりやすい素材で印象深く詠むこと

③「口にまかせて言ひ散らすは、やがて浮きたることと聞ゆ。」の傍線部の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　いつかは　イ　すぐに
ウ　しばらくして　エ　将来的に

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④「この牛、悩ましげにおはしければ、失せ給ひぬべきかとて、いよいよ参りこむ」の傍線部の口語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　この牛が苦しげでいらっしゃったので、亡くなるであろうかと思って
イ　この牛が悩んでいらっしゃったので、姿を消してしまわれるだろうかと思って
ウ　この牛が苦しげでいらっしゃったならば、亡くなるであろうかと思って
エ　この牛が悩んでいらっしゃったならば、亡くなるであろうかと思って

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十二講　模範解答

問一　A	**問二**　B	**問三**　E	**問四**　A	**問五**　E
問六　D	**問七**　B	**問八**　C	**問九**　A	**問十**　E

〈現代語訳〉

この頃聞いたことには、逢坂山の彼方に、関寺という所（があり、そこ）に、牛仏が現れなさって、多くの人が参拝して見申し上げる。長年この寺に、大きな御堂を建立して、弥勒菩薩を造って安置し申し上げていた。丸太や、なんとも言えない大木を、ただこの牛一頭で運び上げることをした。「殊勝な牛」とばかり、お寺の聖は思い続けていたうちに、寺の近くに住む人が（この牛を）借りて、「明日使おう」と思って置いていたその夜の夢に、「私は迦葉仏である。この寺の仏を造り、堂を建てさせようと思って、長年働いているのである。普通の人間はどうして（私を）使うことができようか、いや、できない」と（いう夢を）見たので、起きて、「こうこうこんな夢を見た」と言って、拝み騒ぐのであった。牛もこざっぱりして黒くて、小さくてかわいらしげであった。（この牛は、）つながれていなくてもどこかに行ってしまうこともなく、普通の牛の性質のようでもなかった。入道殿〔＝藤原道長〕をはじめ申し上げて、世の中にいらっしゃる人で参らない人はなく、だれもかれもが皆参って、あらゆるものをお供え申し上げた。ただ帝・東宮・宮様方はいらっしゃることはできなかった。この牛仏が、なんとなく病気で気分が悪いようでいらっしゃったので、「早くお亡くなりになるだろう」と思って、このように人が大勢参り込んで、関寺の聖は絵に表した仏の姿を描こうと用意をした。こうしているうちに、京都の右京でたいそう尊く修行している聖の夢に（牛仏が）見えた。「迦葉仏が今やまさに仏の世界に入ろうとしているときである。智者たる者は、まさに結縁を得ん〔＝得よう〕と心がけよ」と夢に見えたので、ますます人々が参り込むうちに、歌を詠む人もいた。和泉式部は、

　聞きしより…＝（牛仏のことを）聞いた時から心にはかけながらもまだ逢坂の関も越えていないことだよ。

人々がたくさん（歌をお詠み）申し上げたが、同じことであるので記さない。数日間、この牛仏の姿を描かせて、六月二日に眼を入れようとした時に、その日になって、この御堂をこの牛仏はひと巡り見て歩いて、もとの場所に帰ってきてそのまま死んだ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

これはしみじみとすばらしいことであったよ。牛仏の絵の姿に眼を入れたその時に死に果てなさった。聖はたいそうひどく泣いて、そのままそこに埋葬して、念仏を唱えて、七日ごとに読経・仏を供養した。後にこの描いた牛仏のお姿を、帝も中宮も拝みなさった。このような事があった。真の迦葉仏もこの（牛が亡くなった日と）同じ日にお亡くなりになったということだ。今ではこの関寺の弥勒が供養されておられる。この寺の聖もその供養の仕度をした。（牛仏なので）草を誰もが取って参拝していた中で、お参りしない人などがいたので、それは「罪深い者であろうか」などと定めた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十二講　解答解説

〔解説〕

①「（未然形＋）ねど」の「ね」は打消の助動詞「ず」の已然形である。よって、正解はウ。

②「とく」は重要単語で、「はやく」の意味。よって、正解はア。

③「やがて」は重要単語で、「すぐに」「そのまま」の意味。よって、正解はイ。

④「なやましげなり」は「気分が悪そうだ」の意味。「〜ければ、…」と「已然形＋ば」なので、順接確定条件。よって、これらの解釈ができているアが正解。

〔解答〕

①　ウ　　②　ア　　③　イ　　④　ア

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。